「献上桃の郷」を未来につなぐ 農業分野地域おこし協力隊委嘱状交付

町特産桃の産地維持・継承を目的に活動する、地域おこし協力隊の令和7年度委嘱状交付式が4月1日、役場で行われました。これまでに3人の協力隊が卒隊し、新規就農者として活躍している中、今年も6人の協力隊が任期を終えて独立就農を目指す予定です。式では、一人一人が抱負を述べ「先輩農家や隊員同士と協力しながら、技術習得を目指したい」などと意気込む隊員の姿がありました。

隊員らは、指導農家のもとで栽培技術や経営方法を学び、「献上桃の郷」でしか作れない、全国に誇れる極上な桃の生産者を目指して、産地維持・継承できるように活動します。

▲(上段左側から)小林真人(なおと)　坂田星成(せな)　安藤政浩(まさひろ)　西野優香(ゆうか)
(下段左側から)山﨑裕太(ゆうた)　山本博史(ひろふみ)　髙澤祐哉(ゆうや)　春木裕香里(ゆかり)

運転技術と運動機能を確認 シニア向け健康安全運転教室

シニアドライバーが、安全・安心に自動車を運転するための講座「健康安全運転教室」が3月21日、役場で行われ、14人が参加しました。当日は、福島北警察署桑折分庁舎や損保ジャパン株式会社の担当者が、近年の自動車事故状況や安全運転のポイントなどを説明。また、衝突被害軽減ブレーキ搭載車の乗車体験なども行われ、参加者は「自分で思う以上の注意が必要だと分かった」などと話し、認知機能を再確認する機会となりました。

▶衝突被害軽減ブレーキ搭載車の乗車体験

認知症の人への対応力アップ 認知症ステップアップ講座

これまで行われた「認知症サポーター養成講座」を受講し、サポーターとして活動している人のさらなるスキル向上を目指す「認知症ステップアップ講座」が3月14日、イコーゼで行われ、17人が参加しました。当日は、認知症の人に対する日ごろの対応を振り返り、今後のより良い対応を話し合いました。今年度活動開始予定の「チームオレンジこおり」のメンバーを募集しています。詳しくは、健康福祉課(☎582-1134)まで。

▶認知症の人やその家族との関わり方を考える参加者

アウトドア&カフェで春を満喫

春のピーチリバーク157フェス

町阿武隈川多目的親水公園ピーチリバーク157の利用促進の一環として桑折かわまち協議会が主催したアウトドア体験やカフェが楽しめるイベント「春のピーチリバーク157フェス アウトドア&カフェ」が4月12日、現地で開かれ、約100人が参加しました。当日は、親子連れの参加者で賑わい、桜と桃の花が満開な春の水辺で、阿武隈川が運ぶさわやかな風を感じながら、さまざまな体験を通して桑折の春を満喫しました。火起こしやまき割り、マシュマロ焼きなどのアウトドア体験をはじめ、川辺でのカフェやモルック、凧揚げなどの外遊び体験などを楽しみました。

ピーチリバーク157は、イベントの他にも、BBQやピクニック、外遊びなどがいつでも自由にできる公園です。皆さん、ぜひ利用ください。また、公園を管理している桑折かわまち協議会は、公園の維持管理やイベントの開催などを通して、賑わいのあるまちづくりを推進しています。一緒に活動していただける会員を募集していますので、興味がある人は、下記事務局までお気軽に問い合わせください。

■桑折かわまち協議会事務局(建設水道課内)☎582-2127

1_多くの人で賑わう会場　2_ひざがポイント!薪割り体験　3_BBQコンロでパン焼き体験　4_リズムにのって火起こし体験　5_頭脳戦を楽しむモルック体験　6_とろっとおいしいマシュマロ焼き

みんなで守ろう交通ルール

春の全国交通安全運動出動式

春の全国交通安全運動出動式が4月7日、旧伊達郡役所で行われました。町交通安全対策協議会や桑折地区交通安全協会をはじめ、町の安全を守るさまざまな団体が一堂に会し、交通安全を呼びかけました。

式では、髙橋町長や福島北警察署の小林健一署長が出動のあいさつを述べ、伊達崎小学校「家庭の交通安全推進員」の皆さんによる交通安全広報音源が紹介されました。閉式後、白バイやパトカーが旧伊達郡役所の門から一斉に出動。夕方の薄暗くなる時間を前に、町内で交通安全を呼びかけました。

▲旧伊達郡役所から一斉に出動する白バイやパトカー

広　告